

第1915回例会

日時：平成24年1月19日（木）PM 12:30～13:30
場所：中島市民センター3階 会議室

- ◆開会点鐘
- ◆ロータリーソング「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト紹介 茶道宗和流 室木 宗美 様
- ◆会長挨拶
- ◆食事
- ◆出席報告
- ◆幹事報告 地区大会について
- ◆各委員会報告
- ◆ゲスト卓話「茶道の歴史について」室木 宗美 様
- ◆閉会点鐘 ●次期会長の藤崎君から次期役員が発表された

〈出席率〉66.67%

〈ニコニコBOX〉 永谷君・向君



PHF1 回目の認証を受けた藤崎君



↑PHF1 回目の認証を受けた向君 ↑PHF1 回目の認証を受けた鴻野君



PHF1 回目の認証を受けた向君

1月の他クラブ情報 (北国新聞および中日新聞記事から抜粋して紹介)

珠洲ロータリークラブ
小泊警察署に絵本
ロータリークラブは、小泊警察署に絵本を寄贈した。絵本は、警察署の職員や子供たちに読んでもらう。ロータリークラブの活動の一環として行われた。

新嘗祭での務め語る
中島市立中学校で、新嘗祭の準備が完了した。ロータリークラブのメンバーが、生徒たちをサポートした。新嘗祭は、地域の伝統行事であり、ロータリークラブは、地域の発展に貢献している。

中島受まほろばRC
施設にそはまほろばRCは、地域の福祉活動に取り組んでいる。施設にそはまほろばRCのメンバーが、高齢者や障害者をサポートしている。施設にそはまほろばRCは、地域の福祉活動に貢献している。

加賀白山RC
加賀白山RCは、地域の福祉活動に取り組んでいる。加賀白山RCのメンバーが、高齢者や障害者をサポートしている。加賀白山RCは、地域の福祉活動に貢献している。

★米山記念奨学金

日本で学ぶ外国人留学生を支援する、日本の全ロータリークラブによる「多地区合同奉仕活動」です。これまでに支援した奨学生は109か国1万3,902人にのぼり、日本の民間奨学財団では最大規模です。“日本ロータリーの父”米山梅吉氏(1868-1946)の没後、彼の功績を偲ぶために何か有益な事業を、という声がロータリアンから上がりました。「世界に“平和日本”を理解してもらうためには、まずアジア諸国の理解を得なければならない。アジアから一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、互いに信頼関係を築くことこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」。こうして東京RCで始められた「米山基金」が、全国ロータリークラブの合同事業として広がり、1967年7月、文部省(現文部科学省)から財団法人の許可を得るに至りました。

2007年度は、財団設立40周年を迎える記念すべき年です。米山奨学事業の特長は、世話クラブ・カウンセラー制度によって、奨学生一人ひとりが日本での留学生活において精神的な支えを得、かつロータリー活動に密着することができる点にあります。ロータリーが求める平和の精神を胸に刻んで巣立った元米山奨学生には、韓国駐日大使やスリランカ警察庁長官、ネパールの女性職業訓練センター所長のほか、韓国・台湾でガバナーを務めた人もいます。元奨学生を中心に組織される米山学友会は海外を含めて27あり、災害時のボランティア活動やシンポジウムの開催など、社会に貢献する活躍をしています。



四つのテスト

THE FOUR WAY TEST

言動はこれに照らして

— of the things we think, say or do —

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるかどうか

→ 当日配布された茶道の歴史資料2枚目



→ 茶道宗和流教授室木宗美様。室木会員の奥様である。



中島クラブには宗名を持つ人々が2人いる。芸術性の高いクラブである。ことを強調されていた。よくご存知で!

第1916回例会

日時：平成24年1月26日（木）PM 12:30～13:30
場所：中島市民センター3階 会議室

- ◆開会点鐘
- ◆ロータリーソング「奉仕の理想」
- ◆会長挨拶
- ◆1回目ポールハリスフェロー3人に認証状が手渡された
- ◆食事
- ◆出席報告
- ◆幹事報告 IMについて。短期交換留学生について 2012年次大会
- ◆各委員会報告 学童茶道委員会「1月27日は学童茶道教室です」
- ◆クラブフォーラム「創立40周年記念式典について」 勢登委員長と委員
- ◆閉会点鐘

〈出席率〉73.33% 〈ニコニコBOX〉なし

今月の最新RIもしくはRJW(Rotary Japan Web)情報

Rotary Internationalの今月のトピックスから 国際ロータリー・ニュース
インドで1年間、ポリオの新たな感染が報告されず 2012年1月13日より抜粋

◆米国イリノイ州、エバンストン発(2012年1月13日)最近までポリオウィルスの温床となっていたインドでは、1年間、ポリオ(脊髄性小児まひ)の新たな感染が一件も報告されておらず、世界ポリオ撲滅活動を展開してきた全世界のロータリー会員は、油断を許さぬ状況に慎重さを保ちながらも、この快挙に喜びの声を挙げています。

インドでのポリオ症例が最後に記録されてから、1月13日でちょうど1年となります。27年前、世界からポリオを撲滅するという目標を掲げて以来、人道的奉仕団体であるロータリーの全世界の会員約120万人、特に11万6千人を上回るインドのロータリー会員は、撲滅への固い決意の下、子供たちへの全国一斉予防接種など、懸命な撲滅活動を行ってきました。

全世界のロータリークラブが 2億ドルの募金チャレンジの目標を達成

国際ロータリー・ニュース
2012年1月17日より抜粋

◆国際ロータリーは、ポリオ撲滅を目的としたビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金に応える「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の目標額2億ドルついに達成しました。1月17日現在、募金総額は2億260万ドルとなっています。

【ポリオ撲滅に関する関連情報】

- ・ロータリーによるポリオ撲滅への取り組みについて
- ・記事「ロータリー、インドでの1年間のポリオ無発生を祝う」
- ・新しいブログサイト「Rotary Voices」(英語)で、インド・ポリオ・プラス委員長であるディーバク・カプール氏とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団によるコラムをお読みいただけます。
- ・ポリオ撲滅をご支援ください



【写真】ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の最高執行責任者、ジェフ・レイクス氏。写真提供：Bill & Melinda Gates Foundation

【今月のMake upメンバー】1回：福井君、向君

【ニコニコBOX】 今月の投函額 36,000円
累計額 201,000円